

兼任教員情報公開用（最近5年間の主な業績等）

2021年

氏名	飯田 高	担当科目	法と経済学
学 位			
2002年3月	法学修士（東京大学）		
主 な 学 歴			
年 月	事 項		
2000年3月	東京大学法学部卒業		
2002年3月	東京大学大学院法学政治学研究科修士課程（基礎法学）修了		
主 な 職 歴・経 歴			
年 月	事 項		
2002年4月	東京大学大学院法学政治学研究科助手（～2004年3月）		
2004年4月	成蹊大学法学部専任講師（～2006年3月）		
2006年4月	成蹊大学法学部助教授（～2007年3月）		
2007年4月	成蹊大学法学部准教授（～2013年3月）		
2013年4月	成蹊大学法学部教授（～2015年3月）		
2015年4月	東京大学社会科学研究所准教授（～2019年3月）		
2019年4月	東京大学社会科学研究所教授		
最近5年間の主な業績等			
年 月	事 項		
2017年5月	【著書】 『現代日本の法過程（宮澤節生先生古稀記念）』共著（信山社） 「権利を生成する『社会』の力：理論に関する予備検討」（下巻 pp. 449-471）		
2018年3月	『基礎法学と要件事実（法科大学院要件事実教育研究所報第16号）』共著（日本評論社） 「立証責任の分配基準を求めて：法と経済学の視点から」（pp. 23-43, 109-121）		
2018年9月	『危機対応学：明日の災害に備えるために』共著（勁草書房） 「防災対策が『わからない』：認知度から知る社会構造」（pp. 109-138）		
2019年3月	『法の経験的社会科学の確立に向けて（村山眞維先生古稀記念）』共著（信山社） 「ルール適用の『融通性』」（pp. 359-381）		
2019年3月	『〔新版〕法学の世界』共著（日本評論社） 「法社会学：『社会』を通じて法を捉えるために」（pp. 154-163）		
2019年11月	『危機対応の社会科学（上）：想定外を超えて』共編著（東京大学出版会） 「危機対応がなぜ社会科学の問題となるのか」（pp. 1-26）		
2019年12月	『危機対応の社会科学（下）：未来への手応え』共編著（東京大学出版会） 「制度によるブリコラージュ」（pp. 91-113）		
2020年6月	『地域の危機・釜石の対応：多層化する構造』共著（東京大学出版会） 「個人の危機と法制度：地域における法化と制度化の間隙」（pp. 199-221）		
	【雑誌論文】		
2016年9月	「判定をめぐる：スポーツにおける正確性と中立性」 法学教室 432号 60-66頁		
2016年10月	“Motivations for Obeying and Breaking the Law: A Preliminary Study Focused on Labor Law and the Role of Non-Instrumental Motivations,” Japan Labor Review 13(4):28-46		
2017年2月	「資源配分システムとしての『権利』の形成」 法律時報 89巻2号 19-25頁		
2017年3月	「経済学は《法》をどう見るのか」 法社会学 83号 110-119頁		
2017年9月	「数理モデルにおける法：規範と法」 理論と方法 62号 242-256頁		

2018年3月	「コメント：学際的研究のあり方を中心に」 法社会学 84号 136-141頁
2018年11月	「ルールを破って育てる」 論究ジュリスト 27号 100-107頁
2018年12月	「人々の『信念』と法：The Republic of Beliefs とその周辺」 東京大学法科大学院ローレビュー13号 28-43頁
2019年2月	「日本における『成年』制度の成り立ちと社会的意義」 ジュリスト 1528号 78-83頁
2020年3月	「民事訴訟の当事者に対するサーベイ調査：この20年の軌跡」 法と社会研究 5号 111-151頁
2020年3月	「民事訴訟記録調査の概要」 社会科学研究 71巻 2号 5-26頁
2020年3月	「民事裁判における自然人と法人：終局形態の分析」 社会科学研究 71巻 2号 131-153頁
	【その他】
2017年2月	座談会「何が権利か、権利とは何か」 法律時報 89巻 2号 36-54頁
2017年9月	“Emergence, Evolution, and Extinction of Social Norms: the Case of ROSCAs,” Social Science Japan 57:34-36
2017年11月	「民泊に関する雑考：市場と法規制（法律時評）」 法律時報 89巻 12号 1-3頁
2019年7月	「弁護士の職務と感情」 ジュリスト 1534号 87頁
2020年3月	「序：本特集の企画趣旨」 社会科学研究 71巻 2号 1-4頁
	【書評・文献紹介】
2016年7月	“[Book Review] Dimitri Vanoverbeke, Jeroen Maesschalck, David Nelken, and Stephan Parmentier (eds), The Changing Role of Law in Japan: Empirical Studies in Culture, Society and Policy Making” Social Science Japan Journal 19(2):233-235
2016年9月	「書評：ガスティルほか著『市民の司法参加と民主主義：アメリカ陪審制の実証研究』」 理論と方法 31巻 2号 349頁
(参考：外部リンク) プロフィールURL	
	http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/mystaff/iida-t.html